

教育目標「キラリ、桃里に輝く上保原っ子」

平成26年3月3日

桃

里

伊達市立上保原小学校長 亀岡和美

児童数 1年30名 2年35名 3年34名 4年41名 5年32名 6年55名 計227名

～ 修了・卒業まであと〇〇日 ～



カレンダーが3枚目。そして平成25年度は最終月となりました。2月に降った雪が根雪となって残っています。今年の雪は、本当に大変な雪でした。2度雪が降り、また、どちらも金曜日から日曜日にかけての週末でした。また、1度目はさらさらとした雪でしたが、2度目は水分を多く含んだ雪で、除雪がしにくくしかも凍ってしまったという状況でした。除雪が進まない道路では通行できない、除雪した雪で家から出られない等々、様々な雪による障害が見られ、市内小中学校が休校の措置をとりました。保護者や地区の方々が通学路等の除雪をしてくださいましたこと、大変有り難く心より感謝申し上げます。

明日は、授業参観・PTA総会・学級懇談会を予定しています。お忙しいこととは存じますが多数の保護者の皆様のご出席をお願いいたします。

卒業証書授与式(3月20日)まであともう少し。児童にとって、その日が輝かしい日で迎えられよう指導・支援をしていきたいと思っています。

～ 学校評価を踏まえて ～

アンケートの結果を踏まえ、職員全員でその内容を協議しました。多くの課題や要望等ありましたが、一つ一つクリアしていくために、来年度の上保原小学校の目標や計画等について話し合いを重ねてきました。

すぐに解決できない課題もあります。しかし、多くの意見をいただきながらよりよい教育を目指しこれからも課題解決に向かって頑張りたいと思います。

学校評価の結果についてはPTA総会の際にも結果を配付し、説明もしたいと考えています。これからもご忌憚のないご意見をいただきたく思います。ありがとうございました。

～ 春期全国火災予防運動 ～

3月1日～7日まで、運動週間になっています。「消すまでは 心の警報 ONのまま」がスローガンです。これからの時期は、空気が乾燥してきますので火災がおきやすくなります。火災は、地震や津波と違って人的な災害です。一人一人が注意することにより防ぐこともできます。ご家庭での火の取扱いにご留意いただくこと、また、子どもたちが火遊びをしたり、誤った火気取扱いをしたためのやけど等のないよう家庭での約束をしてください。

～ 2月が最終振替でした・・・ ～

学校徴収金については、2月が最終振替(年間10回)となっていました。何度も申し訳ありません。まだ残金不足のため、振替不能のご家庭があります。まもなく、年度終了となります。よろしく願いいたします。残高を確認し、入金をお忘れなくお願いいたします。

～ P M 2 . 5 注意報 ～



以前から肺がんなどのリスクが高まるとされる微小粒子状物質「PM2.5」については、様々なニュース報道がされてきました。2月末からは、福島県に「注意喚起」の情報が入るようになっていきます。

学校では、不要不急の外出の自粛、外出時(登下校時)のマスク着用、屋外での激しい運動の自粛等の指導を行っています。特に、ぜんそく等呼吸器に疾患のある方は、ご注意ください。

注意喚起情報が出された場合には、「安心メール」により保護者の皆様にもお知らせをします。(そのためにも安心メールへの全員登録をお願いいたします)

～ 学校保健委員会から ～

2月6日(木)に第3回学校保健委員会を実施しました。

今回は、学校歯科医、PTAの役員の方3名に出席していただき有意義な会を進めることができました。

1年間の計画・実践についての反省を行い来年度への改善方法について協議しました。今後も改善を加えながら、継続して指導していきたいと思います。

1 保健指導

(1) 欠席状況

インフルエンザが終息。手洗いやうがいの励行、マスクの着用等予防に努めている。

インフルエンザの予防接種率は、約63%である。

(2) 保健室来室状況

けがでの来室者が減る。今後も危険を予測したり、周りをよく見て行動したりすることなどの指導が必要である。

2 生活改善に向けた取組

生活改善に向けたチェック表を活用し、生活リズムの見直し・改善を呼びかけた。

3 う歯予防指導

(1) 学級での指導

学校歯科医による指導(1, 5年)実施。他学年は養護教諭とのTT指導を実施。受診済・未受診の両極化が見られる。(治療率35.8%)

(2) 歯磨き指導、フッ化物洗口

歯磨きは給食後に各学級で実施

フッ化物洗口は週1回、朝実施。希望者実施で98.7%

4 肥満指導

(1) 肥満度20%以上の児童が増加傾向にある。日常生活習慣の指導等を勧めていく。

5 健康に関する指導(重点指導; う歯予防・食育・立腰)

(1) う歯予防指導

(2) 食に関する指導

保原給食センター栄養士による指導(1～4年)実施。弁当の日には、自分で自分の弁当をつくる子どもがみられた。

(3) 立腰指導・・・腰骨を立ててよい姿勢をすること

授業の始めと終わりや食事の挨拶、集会時等に「立腰」を意識させてきた。椅子に座ったときに床に両足をきちんと付けさせるようにしてきた。

今後も継続した指導が必要である。

6 ご指導(学校歯科医; 佐藤ひかりクリニック院長)

(1) 歯ぎしりの子どもが増えている(精神的な原因により)

(2) 学校で歯が折れた児童がいた場合、救急処置をする(歯の保存液を使用)

(3) 歯科検診で正対せず、斜めに座る場合がある。年齢が高くなるほど増える。

